

福祉とものづくりの橋わたし

ジャンプアップ 福祉フェア

福祉機器

来て! 見て! 触って!

KAWASAKI
project

かわさきJプロジェクト 試作開発品の展示

すべて
無料



かわさき基準 (KIS) 認証
および 川崎市関連企業
福祉製品展示

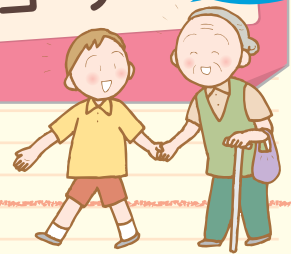
楽しみながら
福祉に親しもう!

血管年齢測定

保健師さんが
アドバイス!

キッズコーナー

つみき黒板で
街づくり!

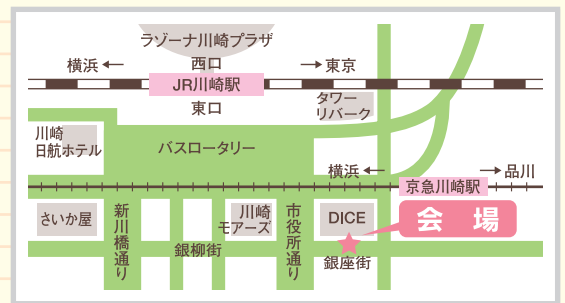


日時

2012年3月24日(土)・25日(日)
11:00~17:00

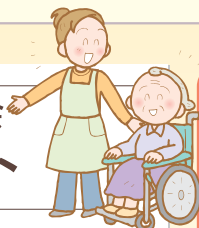
会場

川崎銀座街(川崎駅東口)
春祭り会場内(DICE裏)
(京急川崎駅すぐ JR川崎駅より徒歩3分)



お問合せ

川崎市地域雇用創造推進協議会
かわさきJプロジェクト



〒212-0013
川崎市幸区堀川町66-20 川崎市産業振興会館5階
TEL 044-201-6820 FAX 044-556-5881
[E-mail] j-project@kis-plus.jp
[URL] http://j-project.kis-plus.jp

関連企画

ジャンプアップ福祉フォーラム
かわさきJプロジェクト 平成23年度成果発表

日時 2012年3月13日(火)
12:00~20:00

会場 ソリッドスクエアホール(川崎駅西口徒歩5分)

試作開発品発表・展示、特別講演、座談会ほか
試作品説明ツアー 16:30~17:30/19:10~20:00

※詳細は左記までお問い合わせください。

＊かわさきJプロジェクトとは

皆さまのニーズをすくい上げ、本当に望まれる福祉製品やサービスの開発・改良に取り組む“福祉現場とものづくり現場の橋わたし”を行う事業です。メンバーは、ジャンプアップコーディネータとして施設での介護体験や福祉に携わる方々にお話をうかがってニーズを集めてきました。それらを元に試作開発を行っている5つの製品を展示いたします。

*かわさきJプロジェクトは、川崎市地域雇用創造推進協議会による実現事業(厚生労働省の委託事業)です。

試作開発品の展示

かわさきJプロジェクトでは、利用者の自立を助け、介護者の負担を軽減する5つの製品の試作開発を行っています。来て、見て、触って、ご意見をお聞かせください！

①でんでん

電話での聴こえを助けるローテクグッズ

②自立支援BAR

バーを使って移動をアシスト

③自力でサンポ

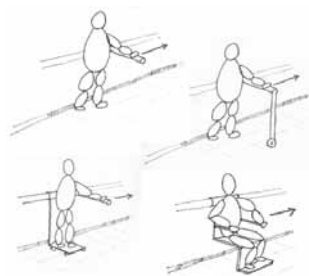
自立歩行の第一歩、連動ブレーキ歩行車

④便座離座センサー

トイレでの「危ない」をキャッチ！
安全・快適なトイレ環境へ

⑤キュービックカート

使う人の目線に立った機能がギュッと詰まった
おむつ交換カート



かわさき基準 (KIS) 認証福祉製品などの展示

かわさき基準(KIS)は、川崎市独自の福祉製品のあり方を示した基準です。

川崎市内には、福祉に関して意欲的に取り組む企業が多くあります。

KISの認証製品をはじめ、川崎市内の企業が手掛けた福祉製品などを展示します。

【楽しみながら福祉に親しもう！】

◆血管年齢測定

あなたの血管年齢は何歳？ まだ若いという方も血管年齢を知って病気を防ぎ、元気で自由な生活を続けましょう。豊かな老後は介護予防から！ 保健師さんによるアドバイスをします。

◆キッズコーナー

チョークで描ける“つみき黒板”に自由に家や木を描いて、みんなが仲良く暮らせる街を作ろう！

このつみき黒板は、社員の70%以上が知的障がい者である日本理化学工業株式会社(川崎市高津区)が作っています。障がいて何？ お年寄りはどうなことに困っているの？ いろいろな人たちの生活について考えてみましょう。



●川崎市地域雇用創造推進協議会構成団体

川崎商工会議所 川崎市 川崎市工業団体連合会 川崎工業振興倶楽部 栗木マイコンシティ企業連絡会
社会福祉法人川崎市社会福祉協議会 川崎市福祉サービス協議会 川崎市老人福祉施設事業協会
社会福祉法人伸こう福祉会 神奈川県立東部総合職業技術校 かわさき基準推進協議会
株式会社浜銀総合研究所

●かわさき基準 (Kawasaki Innovation Standard、通称KIS)

高齢になったり、障がいをもったりしても、住みなれたまちで、誰もが自立して楽しく安心して暮らせることを目指した、川崎市独自の福祉製品のありかたを示した基準です。自立支援を基本概念とし、8つの理念から構成されています。

